

ちとせ観光通信

～千歳一遇～ せんざいいちぐう

発行 一般社団法人 千歳観光連盟

066-0019 北海道千歳市流通3丁目4-1

電話 0123(24)8818

FAX 0123(24)8819

2025年8月22日発行 【再刊第38号】

今号の話題

- 市民夏まつり開幕
スカイ・ビアがにぎわいもたらす
- 千歳の夜空を大輪彩る
千歳市民花火大会開催
- 千歳川の魅力を満喫
川辺のイベント大盛り上がり

夏のまつりに千歳躍動

千歳市民夏まつり開幕

スカイ・ビア&YOSAKOIまつり皮切

約1ヶ月間、市内各所でまつり開催

千歳の夏を熱く盛り上げる



勇壮なヨサコイが観衆を魅了しました



多くの人でにぎわいを見せた会場内

ビールとヨサコイソーラン演舞で千歳の夏を楽しむ恒例の「スカイ・ビア&YOSAKOI祭」(同実行委主催)が、7月19～21日の3日間、市内中心部のグリーンベルトで開かれました。市内で開催される一連のイベント「第49回千歳市民夏まつり」の皮切りです。期間中は曇りも見られたものの好天に恵まれ、来場者はステージでのヨサコイチームによる演舞をはじめ、各種イベントや出店したキッチンカーのメニューを味わい、キリンビール北海道千歳工場

のビールで喉を潤しました。

同実行委には観光連盟も加入し、開催に協力しています。

開会式では入口博美実行委員長が「北海道の夏を十分楽しんでほしい」とあいさつ。勇ましい飛行音をたてたF15戦闘機2機が会场上空に飛来するオープニングフライトを披露で開会を祝い、横田隆一市長、観光連盟会長の小田賢一ら、登壇した関係者がビールで乾杯しました。

今年のヨサコイは、周辺自治体との連携として栗山町で19日に予選を開催。20日に道内外のチームによるトーナメント戦を展開しました。迫力の音楽と躍動感あふれる演舞が繰り広げられ、会場を熱気で包み込みました。厳正な審査の結果、札幌のチーム「北海道大学「縁」が初優勝しました。

会場には焼き鳥やアイスクリーム、ザンギなどを販売するキッチンカーが並び、支笏湖漁協も支笏



ステージでは関係者がビールで乾杯して開幕を宣言しました

湖特産の支笏湖チップの塩焼きを販売。ビールにぴったりの逸品だけに、買い求める人の長い列ができていました。

姉妹都市の指宿市、米アスカレジ市、空路で結ばれて以来親交のある高知県南国市からの使節も来千して、ステージで各市の観光や名産をPR。期間中のステージでは北海道日本ハムファイターズの「ファイターズガール」によるダンスショー、ヒップホップライブ、フラダンスやチアダンス、ANA

千歳空港スタッフによる「CTS アンサンブルカント」による演奏が披露されるなど、来場者を楽しませました。

また来年10月の千歳市空港開港100年記念特別企画として、航空会社各社によるブースなども並びました。

4千発 夜空彩る

夜空に花開く大輪に歓声

千歳市民花火大会開催

千歳市民花火大会が7月26日、陸上自衛隊北千歳駐屯地スキー山西側で開催されました。時折雨がちらつく天候ながらも、打ち上げられた約4000発の花火が夜空を彩り、千歳の夏に花を添えました。

同実行委主催で、北部隊夏まつりと同時開催。会場ではスターマインや仕掛け花火の数々が打ち上げられ、観衆を魅了。色とりどり

の大輪が夜空に咲き誇り、千歳の夏の夜空を彩りました。花火職人の技術の妙が光る花火も多く、満点の大輪には驚きと圧迫の入り交じった感嘆のどよめきも起きるほどの迫力でした。

空港開港百年を記念した仕掛け花火も披露。数々の花火が観る人を沸かせ、打ち上げられるたびに歓声が上がっていました。

北部隊夏まつりでは、音楽演奏や盆踊り、ヨサコイが行われたほか、餅まきやお化け屋敷といったイベントが訪れた人を盛り上げました。



夏の夜空を彩った打ち上げ花火

清流千歳川で夏を満喫

音楽と川下り、

グルメが来場者を魅了

チトセリバーシティプロジェクト×ちとせ川ビールまつり



夏音楽とグルメ、エコラフティングで千歳川の魅力を満喫しました

「チトセリバーシティプロジェクト×ちとせ川ビールまつり」が8月8～10日、グリーンベルト河畔公園・親水公園及び河川敷で開催されました。千歳川沿いの親水空間を会場に音楽グループが演奏。音楽を楽しみながらビールやグルメを楽しむ人でにぎわいました。

実行委主催で、まちおこしに取り組む千歳圏人会が主催。千歳市内中心部を流れる清流千歳川の魅力を満喫しながら飲食を楽しむにぎわいを創出する催しで、観光連盟も後援しました。

清流の美しさを体感するエコーラフティング体験では、清流を下りながら水がきれいでも水量豊かな千歳川を体感。水のレジャーを楽しむながら、家族連れが涼しいひと時を楽しみました。

期間中は、川に設けられた特設



会場内では多くの市民がグルメと飲み物を味わい夏を楽しみました

ステージでは川嶋まり、K&Kカンパニー、The☆Lutia、などが出演。会場には餃子やカレー、ザンギといった出店が並び、グルメを楽しみながらビールで喉を潤すなど、多くの来場者が北国の短い夏を楽しんでいました。

中心街をレースで盛り上げ

事務イスで力走

いす1グランプリ開催

いす1グランプリ北海道千歳大会が8月4日、ニューサンロード商店街で開催されました。事務いすに乗ってコースを周回してタイムを競う催しに、15チームが出場。ニューサンロード商店街振興組合と「いす1GP北海道大会実行委員会」の主催。発祥地は京都府田辺市で、地域経済活性化や真剣に取り組む大人の背中を子ども



中心市街地を事務イスで力走しました（写真は予選です）

たちに見せることで、青少年の健全育成につなげようと企画されました。ユニークさとハードさから、地域おこしを目的に全国でレースが展開されています。

1チーム3人1組で出場。事務いすに腰掛け、脚で路面を強く蹴って前進します。2時間のコース周回数を競い合う内容で、出場者は予選会を経て、本戦では健脚を生かしてコースを走行し、白熱のレースを繰り広げました。

同日はニューサンロード商店街夏まつりも同時開催。特設ステージでは千歳北陽高校吹奏楽部の演

奏で幕開けし、ヒップホップダンス、千歳音頭、サケのふるさと千歳水族館のキャラクター「サモンくん」とのじゃんけん大会、ベリィダンス、千産千唱アイドル「小娘（シャオニヤン）」ライブなどが開催されました。

出店の焼きそばやたこ焼きを味わいながらビールでのどを潤すなど、訪れた人が夏を満喫。ビンゴゲーム大会やカラオケ大会も来場者の熱気と盛り上がりを生み出していました。



ステージでは多くの催しが訪れた人を楽しませました

イベント情報

▼千歳神社秋季例大祭
(2025年9月1～3日、千歳神社境内、青葉公園内) 境内や参道に出店が立ち並び、千歳の秋の

始まりを感謝、豊作を祈願します。始まりを感謝、豊作を祈願します。

9月3日には市内中心部と同神社境内で、創立40周年を迎える千歳巴会による神輿行事が行われるほか、期間中は華道展や子供相撲といったさまざまな奉納行事が行われます。

▼千歳基地航空祭(千歳のまちの航空祭)(2025年9月7日、航空自衛隊千歳基地) 毎年同基地で行われる航空祭。道内外から多くの航空ファン、自衛隊ファンが訪れます。地上に展示した航空機を間近で見学できるほか、F15戦闘機や政府専用機による異機種編隊飛行を展開する予定です。全国

で唯一政府専用機が配備されている千歳基地だけに、身近で見学できる航空機を間近に見学できる機会です。音楽隊の演奏やキッズトレイン、ご当地グルメが堪能できるキッチンカーの出店などもあります。

▼インディアン水車まつり
(2025年9月13、14日、道の駅サーモンパーク千歳) 千歳川の秋の風物詩インディアン水車と、サケ鍋などの食を楽しむ恒例のイベントです。千歳川には毎年秋、多くのサケがそ上します。サケ鍋のほか、千歳機甲太鼓、陸上自衛隊第一特科団音楽隊の演奏、アイヌ古式舞踊、バンド演奏などのステージイベントも楽しめます。

▼北海道森林スポーツフェスタ
2025 in 支笏湖(2025年9月28日、支笏湖ビジターセンター展望デッキ前広場) 森林を駆け抜けるマラソンやノルディックウォーキングでスポーツの秋を楽し

しみつつ、支笏湖の自然環境に触れるイベントです。同実行委主催で、観光連盟後援。森林マラソンは10キロ、2キロの2種目で、大人から子供、家族連れで参加できます。ノルディックウォーキングは5キロ。参加はいずれも有料で、事前申込制。このほかロープで木に登るツリーイング、木の実などの素材を使った工作ネイチャークラフトといった、自然環境保全プログラムも用意しています。



編集後記

以前、山登りの先輩に同行して山に分け入ったことがあります。北海道の山に入ると気になるのはやはりヒグマ。「クマは出ないですか?」「ここは出ない場所だけど、相手はどこかで、僕たちが来たのを察知してらるうね」。

木々と下草、ササの繁る森の中。どこかでこちらを見ていると思うと、緊張感で背中に汗がにじみ出たのを覚えています。

道内ではヒグマによる不幸な事故が相次いでいます。自然豊かな千歳でも目撃情報が寄せられています。情報収集の上で、キャンプやバーベキューでは生ごみをしっかり管理し、登山ではクマ鈴やラジオを付けて行動するなど、十分にお気を付けてください。(ひ)